

平成29年(2017年)度 県立歴史館の活動計画(目標)

基本目標	基本目標に対する取組	平成29年度		平成28年度 主な事業及び達成値	備考
		主な事業	目標値		
長野県民の歴史遺産を子孫に継承するための取組をします	埋蔵文化財、文献史料・歴史資料等を収集し、調査研究を行います	○ H30年度企画展の資料調査	・ 各企画展の基本設計・実施設計の作成 ・ 展示資料の確定	・ 装飾がさらに進化をとげる約5,300～5,100年前にスポットをあて、地域ごとの特徴が感じられる展示となるよう準備を進めた。 ※H29秋季企画展「進化する縄文土器」(H29.9.16～11.26開催)	
		○ 巡回展、遺跡発掘2018、2019の資料調査、共催機関との打ち合わせ	・ 各連携機関と企画・テーマをすりあわせ、広報等の充実をはかる。打ち合わせは各連携機関とも年5回程度実施 ・ 1ヶ月開催で来館者約1,000人を目指す	・ 市町村教育委員会、埋蔵文化財センターと共同して調査を進めるとともに、テーマ展示として「黒曜石」の調査研究を行なった。H30年度開催予定の企画展「黒曜石」に関わる下準備となる調査を行うことができ、今年度はそのプレ展示となった。 ※「遺跡発掘2017」を開催、巡回中 歴史館 3月18日～6月25日 南信会場 7月29日～8月20日 中信会場 8月26日～9月24日 東信会場 9月30日～11月26日	
		○ 文献史料の収集・整理・保存	・ 行政文書、県報、行政資料 新規収集資料(年間約数百冊)の目録照合・確認の完了 県報、行政資料の公開(年間約300冊) 未整理行政文書の整理を進める。 公開・非公開判定、金属除去など装備整理。 所蔵資料の再確認(目録照合・修正 約4万冊) ・ 古文書 新規史料の収集(前年度約3500点) 未整理資料の整理を進める 年度当初未整理資料 約5万点	・ 行政文書、県報、行政資料 平成28年度収集資料の目録照合、確認完了 行政簿冊441冊、県報101件、行政資料147点 県報の製本、公開完了 行政文書の金属除去等装備整理 2,630点 所蔵資料の再確認 明治初年～昭和33,981冊、行政資料1,941冊 所蔵県報の照合 129冊、県報129冊 ・ 古文書 収集 3,155点 整理 23件15,059点 公開 14件 9,555点 (室賀家資料ほか)	
		○ 考古資料の保存処理	・ 収納木製品の保存処理(1,000ポイント)(PEG槽へ投入、濃度アップ、取り上げそれぞれ1回の作業を1ポイント扱いとして換算) ・ 写真資料の保存(フィルムのデジタルデータ化)は35ミリポジフィルム年間20,000枚を実施する(5年で10万枚予定) ・ 金属製品に関しては依頼に対応する	・ 木製品 1,516点(2,369ポイント)の保存処理終了	
史資料の保護・活用に取り組み、保護思想を啓発します	○ 史資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ○ 史資料保存活用講習会の開催 ○ 考古資料保存処理講習会の開催 ○ (新)防災・災害の対応	・ 依頼事項の90%以上	・ 依頼・実施件数 22件(実施率100%)		
		・ 開催3回 参加者60人	・ 3回開催 参加者117人		
		・ 開催1回 参加者20人	・ 1回開催 参加者18人 満足度100%		
		・ 事例研究や他県の体制・対応を参考に研究を進める。			
未来を映す歴史知識の泉としての役割を果たします	長野県の歴史を明らかにし、その成果を普及します	○ 常設展の工夫	・ 関係機関との連携 信州大学工学部、繊維学部 ・ 観覧者数 前年並み ・ 満足度 80%	・ 観覧者 39,850人(+1,225人 103.2%) ・ 満足度91.5%(H27 86.4%)	
		○ 企画展の開催	・ 観覧者数 前年並み ・ 満足度 80%	・ 観覧者 32,199人(+313人 100.1%) ・ 満足度93.1%(H27 88.9%) ※企画展等別 ・ 巡回展「長野県の遺跡発掘2016」(4/1～6/26) 78日 17,325人 満足度 96% ・ 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」(7/9～8/28) 45日 4,192人 満足度 91% ・ 秋季企画展「木曾の宝」(9/17～11/27) 61日 6,782人 満足度 94% ・ 冬季展「信濃国の城と城下町」(12/17～2/26) 55日 2,927人 満足度 90% ・ 巡回展「長野県の遺跡発掘2017」(3/18～3/31) 12日 973人 満足度 93%	
		○ 個別研究の実施	・ 学芸部職員 1人1研究	・ 2.5件/1人 [延件数42件/職員17人(全員実施)] (内訳 ブックレット31 研究紀要7 外部4)	
		○ (新)親子歴史ふれあいコーナーの設置準備	・ コーナーの基本構想を設定、展示室内のレイアウト案を策定する		
		○ 古文書講座の開催	・ 開催25回 受講者900人 ・ 満足度 80%	・ 25回開催 受講者 延べ766人(184人) ・ 講座出席率 82.4% 満足度 88.6%	
		○ (新)ティーンズ古文書講座の開催	・ 開催4回 受講者40人 ・ 満足度 80%		
		○ 考古学講座の開催、探訪会の実施	・ 講座 開催4回 受講者200人 ・ 探訪会 実施1回 参加者40人 ・ 満足度 80%	・ 5回開催 受講者 261人(うち1回探訪会33人) ・ 満足度 90%	
		○ やさしい信濃の歴史講座の開催	・ 開催5回 受講者750人 ・ 満足度 80%	・ 7回開催 受講者1,015人 ・ 満足度91%	
		○ 歴史館ふるさと講座(テーマ「災害」)の開催	・ 開催7回 受講者700人 ・ 満足度 80%	・ 歴史館ふるさと講座1「テーマ:真田氏」 5回開催 受講者611人 満足度 92% ・ 歴史館ふるさと講座2「テーマ:戦争と平和」 4回開催 受講者445人 満足度 92%	
		○ 企画展・季節展等講演会の開催	・ 開催5回 受講者500人 ・ 満足度 80%	・ 5回開催 受講者 869人 満足度 97%	
県民の生涯学習を支援します	○ ブックレットの刊行 ○ (新)信州学テキストの刊行	・ 年1冊の刊行	・ ブックレット23号「川」を刊行		
		・ 年1冊の刊行			

基本目標	基本目標に対する取組	平成29年度		平成28年度 主な事業及び達成値	備考
		主な事業	目標値		
未来を映す歴史知識の泉としての役割を果たします	県民の生涯学習を支援します	○関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市美術博物館(飯田市)、豊科郷土博物館(安曇野市)との連携した講座を開催する(年3回)。 考古学セミナー(県考古学会共催) 1回 近世史セミナー(信濃史学会、信州近世史セミナー共催) 1回 県博物館協議会HPは本年度運用1年目。一般アクセス年間20,000件。加盟館のイベント発信年間60件を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市美術博物館 2回 44人 安曇野市豊科郷土博物館 1回 26人 長野県カルチャーセンター連携講座 6回 受講者123人 考古学セミナー(県考古学会共催) 1回 受講者73人 近世史セミナー(信濃史学会、信州近世史セミナー共催) 1回 受講者51人 HP開設。加盟館が最新の展示・イベント情報をHP上で手軽に情報発信できる場を設けることができた。HPを持ってない小規模館でも本HPを利用し情報発信が可能になった。 	
		○出前巡回講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> 「やさしい信濃の歴史講座」の上田市、松本市、箕輪町の他、1ヶ所で開催(新規)で開催(計年4回)。 「長野県の遺跡発掘2017」の伊那市、安曇野市での巡回開催に合わせた講演会等の開催する。 上記以外の出前講座 開催数90回 参加者数8,000人 	<ul style="list-style-type: none"> 4回開催 受講者250人 (上田1回42人、箕輪町1回69人、松本2回139人) 満足度91% 松本会場(安曇野市)2回開催 (伊那では開催せず) 9/10(259人) 10/1(69人) (アンケートなし) 上記以外の出前講座 94回開催 参加者数8,050人 	
		○(新)おでかけ歴史館事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 下伊那・木曾地域で公民館5件実施 (事業周知のため公民館職員等へのデモ活動も含む。) 		
学校教育を支援します		○効果的な展示利用方法の開発	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示用学習シート(小学校)を活用したプログラムの提供 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート回答校(206校)中111校でワークシートが利用された。(利用率 54%) 	
		○学校見学時の展示解説の実施	<ul style="list-style-type: none"> 希望校100%実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校見学数276校 (展示解説252校、希望校100%実施) 	
		○学校見学時のバックヤード探検の実施	<ul style="list-style-type: none"> 希望校の90%以上の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 91%受け入れ(169校) 	
		○博物館実習・職場体験学習の受入	<ul style="list-style-type: none"> 希望者の90%以上の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 100%受け入れ 博物館実習6人、職場体験26人、インターンシップ2人 	
		○教員研修への協力、実施	<ul style="list-style-type: none"> 希望者の100%の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 100%受け入れ 免許更新講習(信州大学) 142人 教材研修(県総合教育センター) 14人 	
		○出前授業(講座)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 実施30回 参加者1,500人 	<ul style="list-style-type: none"> 27回開催 参加者数1,480人 小学校 10回開催(3校) 290人 中学校 1回開催(1校) 35人 高校 11回開催(5校) 565人 短大 5回開催(1校) 590人 	
歴史情報を提供します		○史資料の閲覧	<ul style="list-style-type: none"> 整理が終了した古文書等の公開をすすめる。公開した情報は、ホームページ、ブログ等に掲載、周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治初期の町村地図約1000点を素材に測量法や描画法など研究。地図画像のWEB公開、報告書の刊行を行った。 	
		○ホームページによる情報提供	<ul style="list-style-type: none"> アクセス数(年間 72,000件) ホームページ上で、絵図地図・企画展等の情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> アクセス数 年間70,600件 ブログを毎週発信 37回 	
		○歴史館情報のマスコミへの周知	<ul style="list-style-type: none"> 信濃毎日新聞社「しなの歴史再現」への連載 企画展、講座等の情報発信(新聞、情報誌等への掲載) 	<ul style="list-style-type: none"> コラムしなの歴史再現(信毎) 48回 新聞、情報誌等への掲載(127回) 	
楽しむ場・憩いの場・交流の場としての役割を果たします	参加して楽しめる場、憩える場とします	○体験イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> 出前イベント「縄文人になろう」を実施する。(各会場で100人以上の体験を目標) 	<ul style="list-style-type: none"> 県庁、長野県埋文センター、伊那文化会館で実施 (500人以上が体験) 	
		○親子映画会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 参加者 年間 600人 	<ul style="list-style-type: none"> 4回 参加者数 1,460人 	
県民が参画した館の運営を進めます		○古文書愛好会の育成と活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 古文書講座受講者の半数の入会 参加者数 500人(延べ) 	<ul style="list-style-type: none"> 入会率 47.5%(入会者 75名/受講者 158名) 参加者数 延べ664人 	
		○運営サポートボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> 展示解説・体験ボランティアの募集・養成を行い、イベント運営への活用を進める。 常設展解説等館運営ボランティアの積極的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 募集 歴史館HP、チラシ(千曲市回覧、当館設置) 新規登録者4人 ボランティア研修会 9回開催 受講者延べ49名 解説34回(学校見学5回、団体見学29回) 体験(イベント)6回 常設展の日曜ボランティア解説(毎日曜日実施) 解説者延数210人 利用者数1,063人 	
		○利用者アンケートの活用	<ul style="list-style-type: none"> 来館者アンケートの意見を反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> 回答の多くを選択式にして、短時間で記入できる様式にした。(回答率 H27 0.97% → H28 1.00%) 県職員向けアンケートの実施(H29.3.3~17) 回答総数 205名 	